

作成日 2022年10月1日
改訂日 2022年12月9日
2023年12月1日

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

製品名 高度好熱菌 MutS
製品コード EL001-01, EL001-02
会社名 合同会社eLANT
住所 大阪府大阪市北区梅田 1-1-3 大阪駅前第3ビル 29 階 1-1-1
電子メールアドレス info@elant.co.jp

2. 危険有害性の要約

GHS分類 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2B
注意喚起語：警告
危険有害性情報：H320 眼刺激
注意書き
安全対策：P264 取り扱い後は顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。
応急措置：P337+P313 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
P305+P351+P338 眼に入った場合、水で数分間、注意深く洗うこと。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 化学名又は一般名	混合物 濃度	化学式	CAS 番号	危険有害成分
Tris-HCl (pH 8.0)	30 mM	データなし	特定されていない	特になし
塩化ナトリウム	50 mM	NaCl	7647-14-5	特になし
EDTA	0.1 mM	データなし	特定されていない	特になし
DTT	1 mM	C4H10O2S2	3483-12-3	特になし
グリセロール	50% (v/v)	C3H8O3	56-81-5	グリセロール
高度好熱菌 MutS	20 µM	データなし	特定されていない	特になし

4. 応急措置

吸入した場合 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。異常があれば医師の診断、手当を受けること。
皮膚に付着した場合 多量の水と石鹸で洗い流す。炎症を生じた場合は医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合 直ちに多量の水で 15 分以上洗い流す。異常があれば医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合 口をすすぐこと。異常があれば医師の診断、手当てを受けること。
急性症状及び遅発性症状の
最も重要な徴候症状 データなし

5. 火災時の措置

適切な消火剤 粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水
使ってはならない消火剤 特になし
火災時の特有の危険有害性 火災時に刺激性もしくは有害なガスを発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法 火元の燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火活動は、可能な限り風上から行う。
消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。
消火活動を行う者の特別な保護
具及び予防措置 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具
及び緊急時措置 作業の際には適切な保護具を着用する。こぼれた場所は滑りやすいために注意する。
環境に対する注意事項 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材 漏出した液は、ウエス、雑巾で出来るだけ回収し、こぼした所を完全に拭きとる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策 安全取扱い注意事項 接触回避	保護具を着用する。 局所排気、全体換気を行なう。 データなし
保管	安全な保管条件	-20℃~-25℃

安全な容器包装材料

ポリエチレン、ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度		
許容濃度	日本産衛学会 ACGIH	設定されていない データなし
設備対策		
保護具	呼吸用保護具 手の保護具 眼、顔面の保護具 皮膚及び身体の保護具	保護マスク 保護手袋 保護メガネ 長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	物理状態 色 臭い	液体 無色 無臭
融点・凝固点		
沸点又は初留点及び沸点範囲		データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		データなし
引火点		データなし
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH		8.0
動粘性率		データなし
溶解度		データなし
n-オクタノール／水分配係数 (log値)		データなし
蒸気圧		データなし
密度及び／又は相対密度		データなし
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	安定
危険有害反応可能性	通常の処理ではなし
避けるべき条件	日光、熱
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

グリセロールについて記載		
急性毒性 (経口)	LD ₅₀ > 5,000 mg/kg	
急性毒性 (経皮)	LD ₅₀ > 5,000 mg/kg	
急性毒性 (吸入：気体)	データなし	
急性毒性 (吸入：蒸気)	データなし	
急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト)	データなし	
皮膚腐食性／刺激性	ウサギ 軽い皮膚刺激	
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激	ウサギ 軽い眼刺激	
呼吸器感受性	データなし	
皮膚感受性	ひとパッチテスト 陰性	
生殖細胞変異原性	データなし	
発がん性	データなし	
生殖毒性	データなし	
生殖毒性・授乳影響	データなし	
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	データなし	
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	データなし	
誤えん有害性	データなし	

12. 環境影響情報

グリセロールについて記載		
生態毒性	水生環境有害性 (短期/急性)	区分外
	水生環境有害性 (長期/慢性)	区分外
残留性・分解性	分解度 63% by BOD、94% by TOC、100% by GC	
生態蓄積性	データなし	
土壤中の移動性	データなし	

オゾン層への有害性	データなし																
13. 廃棄上の注意																	
残余廃棄物 汚染容器及び包装	廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。なお上記方法による処理が出来ない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。																
14. 輸送上の注意																	
国際規制 国内規制	<table border="0"> <tr> <td>国連番号</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td>海洋汚染物質</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td>海上規制情報</td> <td>規制されていない</td> </tr> <tr> <td>航空規制情報</td> <td>規制されていない</td> </tr> <tr> <td>陸上規制情報</td> <td>規制されていない</td> </tr> <tr> <td>海上規制情報</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td>航空規制情報</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td>陸上規制情報</td> <td>規制されていない</td> </tr> </table>	国連番号	該当なし	海洋汚染物質	該当なし	海上規制情報	規制されていない	航空規制情報	規制されていない	陸上規制情報	規制されていない	海上規制情報	該当なし	航空規制情報	該当なし	陸上規制情報	規制されていない
国連番号	該当なし																
海洋汚染物質	該当なし																
海上規制情報	規制されていない																
航空規制情報	規制されていない																
陸上規制情報	規制されていない																
海上規制情報	該当なし																
航空規制情報	該当なし																
陸上規制情報	規制されていない																
特別な安全上の対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。																
15. 適用法令																	
グリセロールについて記載 労働安全衛生法 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) 毒物及び劇物取締法 消防法	危険有害化学物質等 (規則第 24 条 14) 特定危険有害化学物質等 (規則第 24 条 15) 該当しない 該当しない 該当しない																
16. その他の情報																	
* 本SDSはJIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。 * 記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。 * 特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください。 * 現在での最新の情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。																	